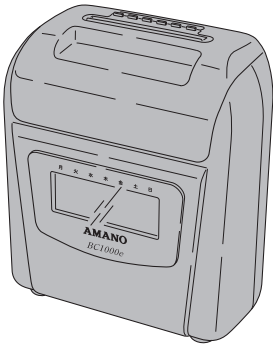
AMANO

電子タイムレコーダー

BC1000e

取 扱 説 明 書



■重要安全情報

本書に記載した注意事項は次のように危険の程度や内容に応じて使い分けております。製品をお使いになる前に必ずお読みください。

⚠ 警告：誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意：誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。

・重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび、治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
・傷害とは治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。
・物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

アマノ・タイムレコーダー・サポートセンター
フリーダイヤル 0120-088-024
受付時間／月～金曜日　9:00-12:00、13:00-18:00
（※祝祭日、弊社休日を除く）

重要安全情報 1
安全にお使いいただくために 2

各部の名称 4
　外観 4
　操作部 5

設置上の注意 7
　設置のしかた 7
　壁に掛けて使用する場合 8
　電源について 9

使用するタイムカードについて 10

すぐにご使用になる場合 10
　初期値一覧表 10

毎日の使いかた 11
　出勤・退勤の選びかた 11
　タイムカードの入れかた 11

設定のしかた 12
　上ぶたの開閉 12
　締日の変更が必要な場合 13
　空段位置の変更が必要な場合 14
　印字段切換時刻の変更が必要な場合 15
　時計を合わせたい場合 16
　曜日の印字を変更したい場合 18
　タイムカードの表裏判定と分印字表現 19
　サマータイムの設定をしたい場合 20

こんなときには 22
　こんなときには 22
　エラーコード一覧とメッセージ 23

印字が薄くなってきたら（リボンカセットの交換） 24

付録 26
　日常のお手入れ 26
　製品仕様 26
　消耗品・別売品 27
　保証とアフターサービス 28

はじめに

このたびは、電子タイムレコーダー BC1000e をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。BC1000e を安全に正しくご使用いただくために、この取扱説明書を、お使いになる前に必ずお読みください。またお読みになった後は、いつでも使えるように大切に保管してください。

□ 製品改良のため、仕様・外形・記載事項等が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
□ 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、誤りや記載事項の不明点がありましたら、弊社タイムレコーダー・サポートセンターまでご連絡ください。

まず付属品をお確かめください

□壁掛板 1 枚
□取扱説明書（本書）1 部
□保証書 1 部
□サポートセンター案内シール 1 枚

ご注意

□ BC1000e は、設置環境が悪いと、正常に使えなくなることがあります。屋外や雨水のかかるところでのご使用は避けてください。

・アフターサービス
各種お問合せは、弊社タイムレコーダー・サポートセンターまでお電話ください。出張して作業を行う場合は原則として当社規定の「作業料金」「交通費」などをご請求申し上げます。

アマノ・タイムレコーダー・サポートセンター
フリーダイヤル **0120-088-024**
受付時間／月～金曜日　9:00-12:00、13:00-18:00
（※祝祭日、弊社休日を除く）

重要安全情報

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みください。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると感電等による死亡または重傷を負う危険性あるいは火災等の発生が想定される操作・説明では、この警告マークを付記します。

《補足》　重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび、治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

⚠ 注意	誤った取り扱いをすると火災・感電・けが等、使用者が傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される操作・説明では、この注意マークを付記します。

《補足》　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。
物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

《電源に関する注意事項》

- ■　電源はＡＣ１００Ｖ（５０／６０Ｈｚ）です。安定した電源・電圧のもとでご使用ください。
- ■　タイムレコーダーの電源は終夜電源にし、他の機器電源と独立させてください。
- ■　本機はリチウム電池を内蔵しています。停電になっても内部時計は歩進しています。ただし、停電時はタイムレコーダーの打刻はできません。

《ケースを開ける場合の注意事項》

- ■　上ケースを開けてリボンカセット交換等を行うときは、机などの大きな金属に触れるなど除電して（静電気を取り除いて）から作業してください。故障等の原因となることがあります。

●絵表示の例●

高温注意

△記号は警告や注意を示します。具体的な警告や注意内容は△の中に絵で示します。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為を示します。具体的な禁止内容は⃠の中に絵で示します。

プラグを抜く

●記号は強制する行為を示します。具体的な強制内容は●の中に絵で示します。

●お願い●

製品改良のため、仕様・外形・記載事項等が変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みのうえ、お守りください。

⚠ 警　告

定格電圧外禁止

・本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しないこと。
　火災、感電の原因となります。

タコ足配線禁止

・電源は、直接コンセントから取り、タコ足配線はしないこと。
　火災の原因となります。

ぬれ手禁止

・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。
　感電の原因となります。

禁止

・電源コードを傷つけたり、破損しないこと。
　重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。

分解禁止

・本機を、改造しないこと。
　火災、感電の原因となります。

分解禁止

・本取扱説明書で取りはずす手順を説明した部位以外は分解したり、触れたりしないこと。
　内部に電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プラグを抜く

・万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターへ連絡すること。
　そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

プラグを抜く

・万一、異物(金属片、水、液体)が本機の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターへ連絡すること。
　そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

定期清掃

・電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接触部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ること。
　ほこりがたまり、火災の原因となります。

⚠ 注　意

設置場所

・本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにすること。
　万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜くこと。

禁止

・本取扱説明書の中には、弊社または弊社指定代理店が行う作業の説明がありますが、その作業は絶対にお客様が行わないこと。
　感電、けがの原因となることがあります。

禁止

・ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かないこと。
　落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。

水ぬれ禁止

・本機の上に水の入った容器やピンなどの金属物を置かないこと。
　こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

・調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所、ホコリの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。
　火災、感電の原因となることがあります。

固定用具使用

・本機を壁掛けする場合は、本機の重量が十分支えられるような壁材にあった固定用具を使用すること。
　落下してけがの原因となることがあります。

プラグを持って抜く

・電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜くこと。
　電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

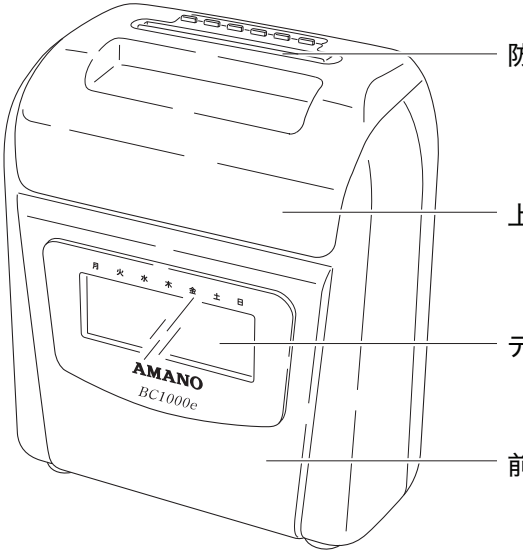
・リボンカセットを交換するときは、上ケースを外した後、電源プラグをコンセントから抜くこと。
　そのまま交換するとけがや感電の原因になることがあります。

プラグを抜く

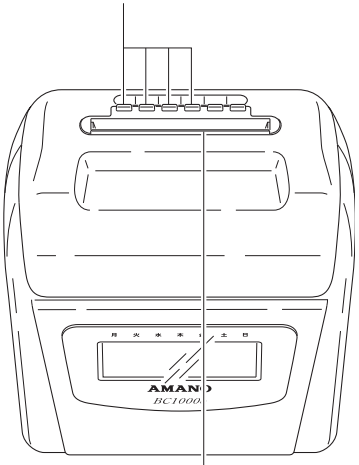
・本機を移動させる場合は、電源プラグを抜くこと。
　電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

各部の名称

外観

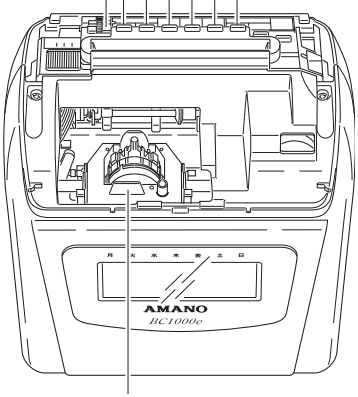


欄ボタン
※右側２つのボタンは使用できません。



カードポケット

欄ボタン（設定ボタン）
設定見出し

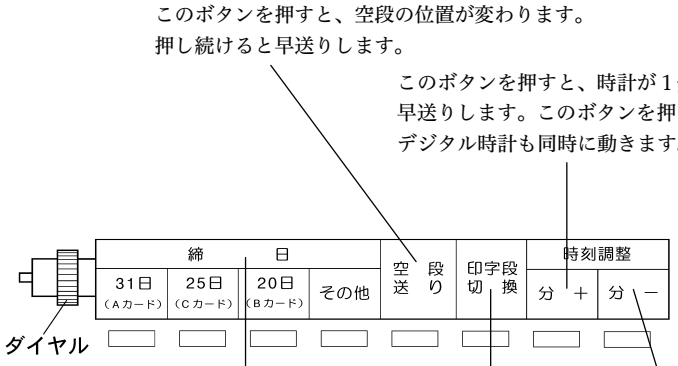


リボンカセット

操作部

上ぶたを開けて、各項目の設定を行います。（12 ページ参照）
左側にあるダイヤルを回して設定見出しを回転させることで、設定見出し①〜②を出すことができます。設定見出しの手前にあるボタンを押して操作します。設定についての詳しい説明は、13 ページ以降を参照してください。

設定見出し①



このボタンを押すと、空段の位置が変わります。
押し続けると早送りします。

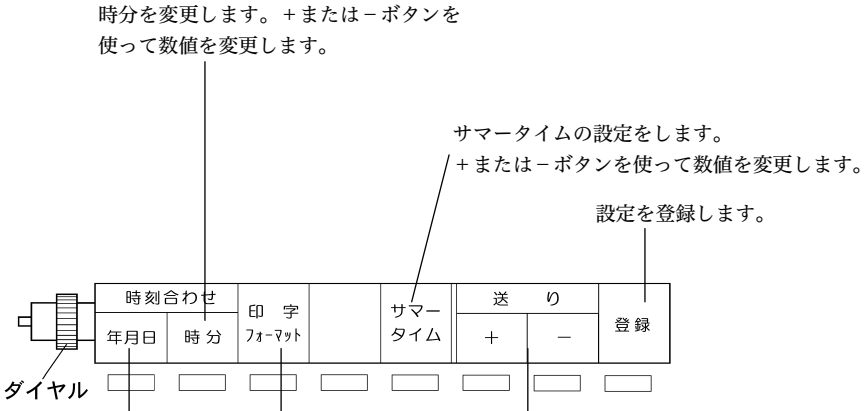
このボタンを押すと、時計が 1 分進みます。押し続けると、早送りします。このボタンを押した瞬間が 0 秒となります。デジタル時計も同時に動きます。

月末・25 日・20 日締めボタンがあります。任意の締日をセットしたい場合は、「その他」を押します。「その他」を 1 回押すと表示が 1 日進みます。押し続けると早送りします。

このボタンを押すと、タイムカードの印字段を切り換える時刻が変わります。押し続けると早送りします。

このボタンを押すと、時計が 1 分戻ります。押し続けると、早送りします。このボタンを押した瞬間が 0 秒となります。
デジタル時計も同時に動きます。

設定見出し②


時分を変更します。＋または－ボタンを
使って数値を変更します。
サマータイムの設定をします。
＋または－ボタンを使って数値を変更します。
設定を登録します。
時刻合わせ
年月日
時 分
印 字
ﾌｫｰﾏｯﾄ
サマー
タイム
送 り
＋
－
登録
ダイヤル
年月日を変更します。＋または－ボタンを
使って数値を変更します。
①タイムカードの表裏判定、②分印字表現、③曜日印字、
の印字フォーマットを変更します。
＋ボタンを１回押すと数値を＋1 します。押し続けると早送りします。
－ボタンを１回押すと数値を－1 します。押し続けると早送りします。

設置上の注意

設置場所のご注意

注意　次のような場所での設置は故障の原因となりますので、設置しないでください。

禁止

直射日光、熱源のそばには設置しないでください。

水ぬれ禁止

雨水のかかる場所には設置しないでください。

禁止

強い振動、衝撃を機器に与えないでください。

禁止

腐食性ガス、蒸気、塩害のある場所には設置しないでください。

禁止

調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があがるような場所、ホコリの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。

設置のしかた

台に置いて使用する場合は、台の高さは 75cm 程度が最適です。
アマノ専用レコーダースタンドがありますので、ご利用ください。（別売品）

注意

禁止

ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かないこと。
落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。

固定用具使用

本機を壁掛けする場合は、本機の重量が十分支えられるような壁材にあった固定用具を使用すること。
落下してけがの原因となることがあります。

本機は壁掛けでも使用することができます。
壁に掛けてご使用になる場合は次ページをご覧ください。

壁に掛けて使用する場合

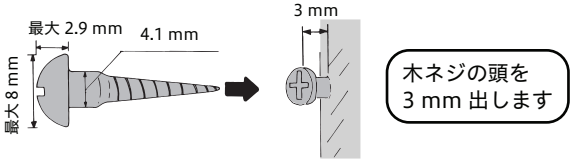
⚠ 注　意

固定用具を使用

・壁掛けは本機の重量を十分支えられるように壁材にあった固定用具を使用すること。
落ちてケガの原因となることがあります。

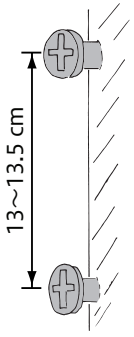
1 木ネジを壁に取り付けます。（木ネジはお客様でご用意ください。）

94 ㎝～124 ㎝程度のところに木ネジを付けると使いやすい高さです。

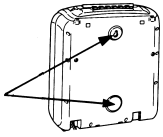


2 2 本目を取り付けます。

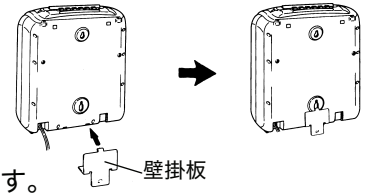
最初に付けた木ネジからまっすぐ下に 13 ㎝～13.5 ㎝のところにもう 1 本の木ネジを取り付けます。



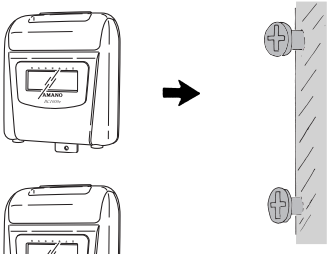
3 本体背面のシールをはがします。



4 壁掛板をダルマ穴（2 ヶ所あるうちの下の方）に引っ掛けます。



5 ダルマ穴を壁の木ネジに引っ掛けます。



6 壁掛板を木ネジで固定します。

電源について

⚠ 警　告

定格電圧外禁止

・本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しないこと。また、タコ足配線をしないこと。
火災、感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。
感電のおそれがあります。

禁止

・電源コードを傷つけたり、破損しないこと。
また、重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。

分解禁止

・本機の上ぶた以外は外さないこと。
内部は電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

分解禁止

・本機を改造しないこと。
火災、感電のおそれがあります。

プラグを抜く

・万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社タイムレコーダー・サポートセンターに連絡すること。
そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

プラグを抜く

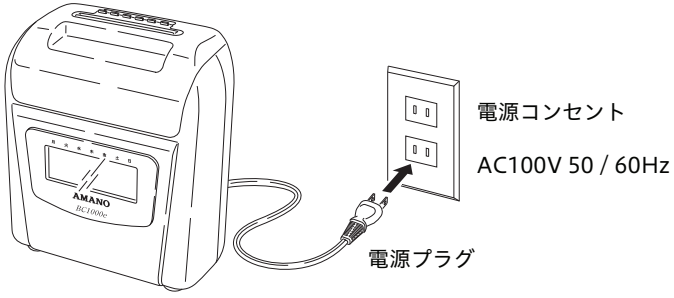
・万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社タイムレコーダー・サポートセンターに連絡すること。
そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

⚠ 注　意

プラグを持って抜く

・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



■電源、電圧は安定したところでご使用ください。
■電源は終夜電源にして、他の機種と独立させてください。
■電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因となります。

使用するタイムカードについて

・月末締め（１５日締め※）― A カード
・２０日締め（５日締め※）― B カード
・２５日締め（１０日締め※）― C カード
・日付の印刷なし（上記以外の締日）― D カード（特注品）

※ 例えば A カードでは、表面（青色の面）から使い始めると月末締めに、裏面（赤色の面）から使い始めると 15 日締めになります。

すぐにご使用になる場合

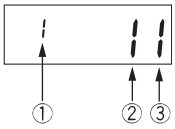
下記の設定内容でしたら、電源プラグをコンセントに差し込むだけで、設定なしでもご使用いただけます。

➲ 締日“31 日”または“15 日”で、夜中 3：00 をまたぐ勤務の人がいないときには、そのままお使いになれます。

■締日=31 日または 15 日 ・A カードを使用します。

■印字段切換時刻=3：00 ・タイムレコーダー上の 1 日の開始時刻です。
この時刻を境に、印字する段を切り換えます。
・印字段切換時刻は就業者がいない時刻を選びます。午前 3 時を超える勤務が頻繁にある場合、設定変更する必要があります。（A カード使用）（15 ページ参照）

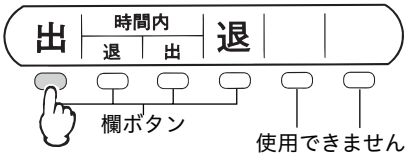
初期値一覧表

内容	設定値	初期値	参照ページ
締日	01～31	31（31 日締め）	13
空段送り	01～32 （アマノ A、B、C カード使用時は、締日により自動的に決まります。）	01（1 段目）	14
印字段切換時刻	時　00～23	03（3：00（深夜））	15
印字フォーマット  	①タイムカードの表裏判定 1：する　2：しない	1（する）	19
	②分印字表現 1：60 進法　2：100 進法 A 3：100 進法 B　4：10 進法	1（60 進法）	19
	③曜日印字 0：日付　1：漢字　2：英語 3：曜日印字しない	1（漢字を印字する）	18
サマータイム	サマータイム開始日 実行時刻：0:00～9:00 サマータイム終了日	通常使用しません	20

毎日の使いかた

出勤・退勤の選びかた

「出」「退」の印字位置は、欄ボタンを押して選びます。

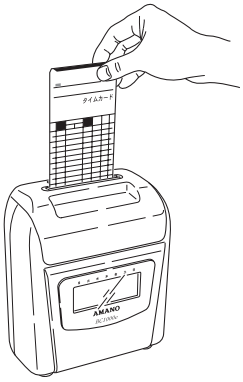


■ 欄ボタンを指定して赤く点灯させてからタイムカードを挿入します。すると、タイムカードの、欄ボタンで指定したところと対応した欄に印字します。タイムカードの他の欄に印字したい場合は、印字したい欄ボタンを指定します。

■ 次に欄ボタンを押すまでタイムカードの印字位置は変わりません。

タイムカードの入れかた

印字欄を確認してカードを軽く挿入します。
カードは自動的に引き込まれ、印字されます。



■ 自動引込式です。無理に押し込んだり、印字中に引き抜いたりしないでください。
■ 上下を誤って挿入すると印字してしまいます。注意してください。

《表裏判定機能付（19 ページ参照）》
アマノ A、B、C カードをお使いのときのみ機能します。

■ 表裏を誤って挿入すると、印字せずにカードを排出して「ピコピコピコ」とエラー音を鳴らします。

《時刻改ざん印字（不正防止のため）》

■ 時計を 5 分以上変更すると、変更後初めての打刻のみ「時の位」の印字が小文字になります。時刻を元に戻した場合は、5 分以上の変更であっても通常どおり大文字で印字します。

■ サマータイムの設定操作をした日に、自動的に 1 時間進んだり戻ったりした場合も、最初の打刻のみ「時の位」が小文字になります。
設定操作をした日でなければ、通常どおり大文字で印字します。

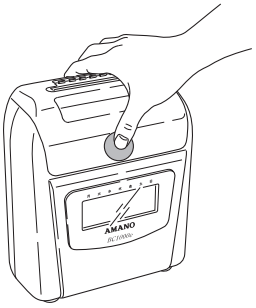
設定のしかた

上ぶたの開閉

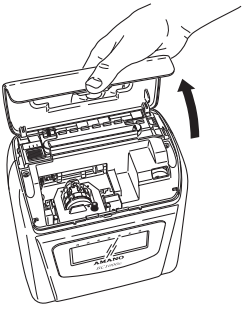
時刻合わせ・締日変更・年月日変更・リボンカセット交換等の時、上ぶたを開けます。

注）上ぶたの開閉は電源を入れた状態で行ってください。

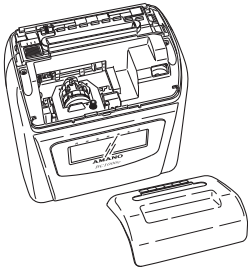
開け方



①上ぶた中央を押しながら、上ぶたを開きます。

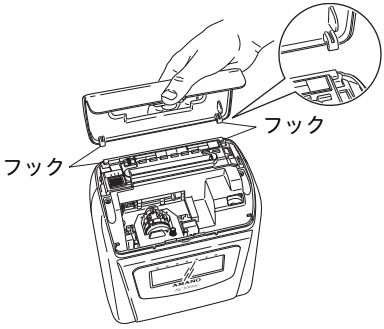


②上ぶたを上へ開きます。

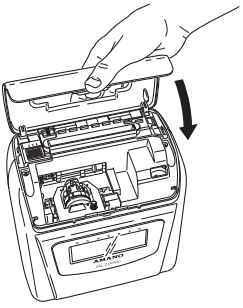


③上ぶたを取り外します。

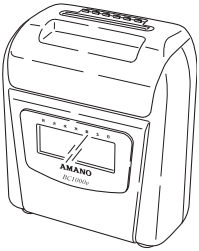
閉め方



①上ぶたのフックを本体のフックに引っ掛けます。



②上ぶたを手前に倒します。パチッというまで上ぶた前面を強めに押してはめます。



③時計表示が現在時刻であることを確認してください。

締日の変更が必要な場合

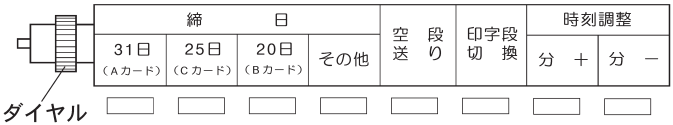
締日とは、1 か月単位の処理月の最終日を言います。締日が 31 日または 15 日（アマノＡカード使用）の場合は、セットする必要がありません。
締日が 20 日または 5 日（アマノＢカード使用）の場合は、20 日（Ｂカード）の締日ボタンを、また締日が 25 日または 10 日（アマノＣカード使用）の場合は、25 日（Ｃカード）の締日ボタンを押すだけで締日を変更できます。
例：締日 25 日（アマノＣカード使用）

1 上ぶたを開けます（12 ページ参照）

2 設定見出しのダイヤルを回転させます

ディスプレイ表示

印字段切換時刻　締日　空段位置



3 変更したい締日のボタンを押します

登録完了です。

押すと点灯し、25 日締めに変更できます。

・その他ボタンは、月末（15 日）、25 日（10 日）、20 日（5 日）以外に締日をセットする際に押します。

➲ 時計表示が現在時刻であることを確認してください。
現在時刻が表示されない場合は、上ぶたが閉まっていない場合があります。
確実に上ぶたを閉めてください。

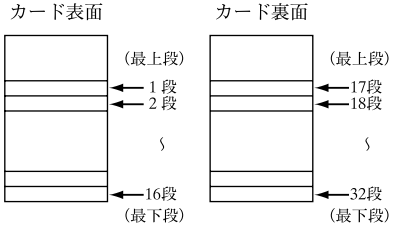
上ぶたを開けないで締日を変更することもできます。

1　欄ボタンの④ボタンと⑥ボタンを同時に５秒以上押します。ピッと音がして①ボタン②ボタン③ボタンが順番に点灯します。
2　変更する締日に該当するボタンを５秒以上押します。ピッと音がして設定されたボタンが４回点滅します。点滅後は設定変更前の欄ボタンが点灯します。
　月末・15 日締め（Ａカード）：「出」ボタン
　25 日・10 日締め（Ｃカード）：「時間内　退」ボタン
　20 日・５日締め（Ｂカード）：「時間内　出」ボタン

空段位置の変更が必要な場合

空段とは、タイムカードで両面 32 段のうち空白にする段を言います。
タイムカードの表面最上段を 1 段、裏面最下段を 32 段として、空段にしたい段を数字でセットします。
締日（A、B、C カード）をセットすると空段は自動的に次のようにセットされます。
アマノ D カードを使用する場合は空段位置を確認する必要があります。

締　日	空段位置	適用カード
31・15 日	1 段	アマノ A カード
20・5 日 25・10 日	17 段	アマノ B カード アマノ C カード



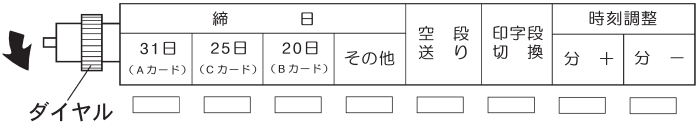
例：空段を 7 段目にする

1 上ぶたを開けます（12 ページ参照）

2 設定見出しのダイヤルを回転させます

ディスプレイ表示

印字段切換時刻　締日　空段位置



3 空段送りボタンを押します

ボタンを押すと、空段の位置が変わります。
希望する空段になるまで押します。押し続けると早送りします。

➲ 時計表示が現在時刻であることを確認してください。
現在時刻が表示されない場合は、上ぶたが閉まっていない場合があります。
確実に上ぶたを閉めてください。

印字段切換時刻の変更が必要な場合

本機は印字するタイムカードの段が午前 3 時に切り換えるように設定されています。

右図は、午前 3 時を超えて退勤打刻した場合の例です。午前 3 時を超えた 5:10 に打刻した為に翌日の段に印字されています。

日付	定時出	時間内 退	時間内 出	定時退	時間外		小計
1	✱22:09						
2				✱ 5:10			

午前 3 時を超える勤務が頻繁にある場合、印字段切換時刻を勤務されている方がいない別の時刻に変更します。

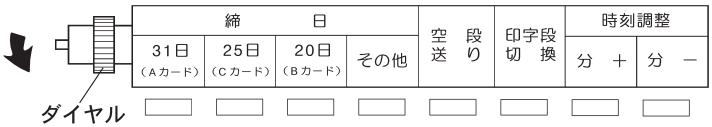
例：印字段切換時刻　午前 6 時に設定する場合

1 上ぶたを開けます（12 ページ参照）

2 設定見出しのダイヤルを回転させます

ディスプレイ表示

印字段
切換時刻



3 印字段切換ボタンを押します

ボタンを押すと、切り換え時刻が変わります。
希望する印字段切換時刻になるまで押してください。
押し続けると、早送りします。

➲ 時計表示が現在時刻であることを確認してください。
現在時刻が表示されない場合は、上ぶたが閉まっていない場合があります。
確実に上ぶたを閉めてください。

印字段切換時刻を 6 時にセットすると、翌日の 5：59 までは同じ印字段になります。

日付	定時出	時間内 退	時間内 出	定時退	時間外		小計
1	✱22:09			✱ 5:10			
2							

時計を合わせたい場合

時計が遅れたり進んだときに、時計を合わせます。
時計の合わせかたには 2 通りあります。
通常は、「分の合わせかた」で時計を合わせます。
万一、日付や時刻が違うときには「日付・時刻の合わせかた」で時計を合わせます。
（17 ページ参照）

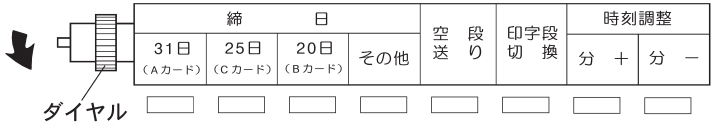
《分の合わせかた（微調整）》

1 上ぶたを開けます（12 ページ参照）

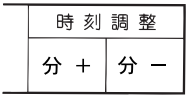
2 設定見出しのダイヤルを回転させます

ディスプレイ表示

印字段切換時刻　締日　空段位置



3 分＋ボタンと分－ボタンで時計を合わせます



1 回押すと表示が 1 分ずつ進みます。押し続けると早送りします。押した瞬間、0 秒から時計が動きます。

1 回押すと表示が 1 分ずつ戻ります。押し続けると早送りします。押した瞬間、0 秒から時計が動きます。

分＋ ボタン、分－ ボタンを押すと、画面が時計表示に変わります。

※数分の遅れや進みであれば 分＋、分－ ボタンを押して時刻調整します。
数十分の進みであれば、「日付の合わせかた」の 時分 ボタンを押して、時刻調整します。
（17 ページ参照）

➲ 時計表示が現在時刻であることを確認してください。
現在時刻が表示されない場合は、上ぶたが閉まっていない場合があります。
確実に上ぶたを閉めてください。

《日付・時刻の合わせかた》

年・月・日・時・分の修正をします。

12 ページを参照し、上ぶたを開けて操作します。

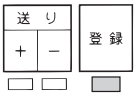
例：2013 年 3 月 29 日 18 時 00 分を 2013 年 4 月 1 日 8 時 30 分にする

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

ディスプレイ表示

年が点滅します

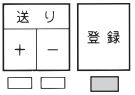
2 西暦年を合わせます



西暦年を確認します。
修正する必要がなければ登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと月が点滅します

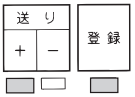
3 月を合わせます



＋ボタンを 1 度押します。
04 になりましたら登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと日が点滅します

4 日を合わせます



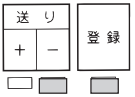
01 になるまで＋ボタンを押します。
01 になりましたら登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと確定します

5 時分ボタンを押します

時が点滅します

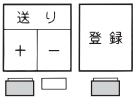
6 時を合わせます



08 になるまで－ボタンを押します。
08 になりましたら登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと分が点滅します

7 分を合わせます



30 になるまで＋ボタンを押します。
30 になりましたら登録ボタンを押します。

登録ボタンを押すと登録を完了し、0 秒から時計が動きます。

- 時計表示が現在時刻であることを確認してください。
  現在時刻が表示されない場合は、上ぶたが閉まっていない場合があります。
  確実に上ぶたを閉めてください。
- 年は、00～95 が 2000 年代、96～99 が 1990 年代となります。

曜日の印字を変更したい場合

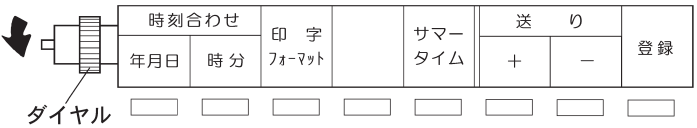
タイムカードに印字する曜日の種類を変更します。
12 ページを参照し、上ぶたを開けて操作します。

曜日印字　0：日付　1：漢字　2：英語　3：曜日印字しない

例：曜日印字を漢字から日付に変更する場合

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

ディスプレイ表示



2 印字フォーマットボタンを押します

ボタンを押すと画面が
変わります。

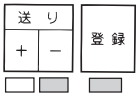
タイムカードの
表裏判定

分印字表現
曜日印字

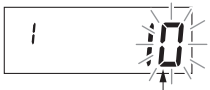
3 登録ボタンを 2 回押します

曜日の印字の数値が
点滅します。

4 曜日の印字を変更します



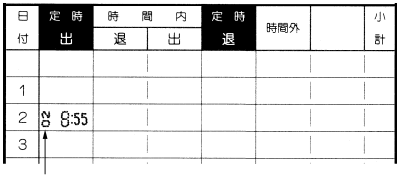
0 になるまで－ボタンを押します。
0 になりましたら登録ボタンを押します。



0：日付
1：漢字
2：英語
3：曜日印字しない

➲ 時計表示が現在時刻であることを確認してください。
現在時刻が表示されない場合は、上ぶたが閉まっていない場合があります。
確実に上ぶたを閉めてください。

印字例



日付の印字になりました

タイムカードの表裏判定と分印字表現

タイムカードの表裏判定の有無や時刻の表現方法を設定します。

12 ページを参照し、上ぶたを開けて操作します。

※タイムカードの表裏判定する／しないは、アマノ A、B、C カードをお使いのときは設定不要です。
アマノ D カードおよびアマノ以外のタイムカードをご使用のときに、設定します。

タイムカードの表裏判定　1：する　2：しない
分印字表現　1：60 進法　2：100 進法 A　3：100 進法 B　4：10 進法

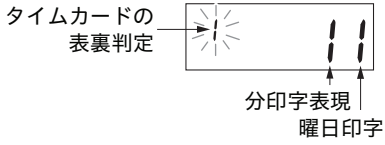
例：タイムカードの表裏判定なし、分は 100 進法 B にします。

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

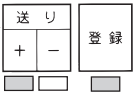
ディスプレイ表示

2 印字フォーマットボタンを押します

ボタンを押すと画面が
変わります。

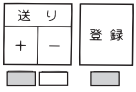


3 タイムカードの表裏判定を変更します



2 になるまで＋ボタンを押します。
2 になりましたら登録ボタンを押します。

4 分印字表現を変更します



3 になるまで＋ボタンを押します。
3 になりましたら登録ボタンを押します。

➲ 時計表示が現在時刻であることを確認してください。
現在時刻が表示されない場合は、上ぶたが閉まっていない場合があります。
確実に上ぶたを閉めてください。

分印字表現：

| | | |

サマータイムの設定をしたい場合

日本国内において、サマータイムが導入されたときに登録してください。
サマータイムの開始／終了日と、実行時刻を設定します。

●登録したサマータイム開始日の実行時刻になると、自動的に時計が 1 時間進みます。
登録したサマータイム終了日の実行時刻になると、自動的に時計が 1 時間戻ります。

サマータイム設定の自動更新

例えば、開始日=2013 年 4 月 7 日（日曜日）、
終了日=2013 年 10 月 27 日（日曜日）と設定した場合
本機は開始日を 4 月の最初の日曜日､終了日を 10 月の最後の日曜日と認識します。
そのため、サマータイム終了日を過ぎると、翌年のサマータイム設定は、自動的に
開始日=2014 年 4 月 6 日（日曜日）、
終了日=2014 年 10 月 26 日（日曜日）と設定し直されます。
1 度設定をすれば、その後は設定不要です。

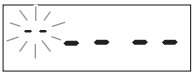
12 ページを参照し、上ぶたを開けて操作します。
例：開始日を 2013 年 4 月 7 日、実行時刻を　5：00　に設定します

1 設定見出しのダイヤルを回転させます

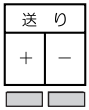
ディスプレイ表示

2 サマータイムボタンを押します

ボタンを押すと画面が
変わります。

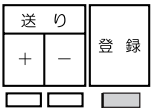


3 ＋または－ボタンを押します



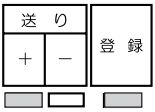
ボタンを押すと、開始年月日とその曜日を
表示します。（曜日は該当曜日表示下に▲
が表示されます。）

4 西暦年を合わせます



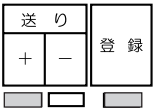
西暦年を確認します。修正する必要がなければ 登録 ボタンを押します。

5 月を合わせます



4 になるまで ＋ ボタンを押し、登録 ボタンを押します。

6 日を合わせます



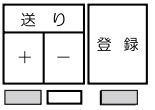
7 になるまで ＋ ボタンを押し、登録 ボタンを押します。

4 月 7 日の曜日を表示

7 もう 1 度、登録ボタンを押します

登録ボタンを押すと、実行時刻を表示します。

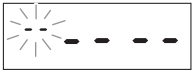
8 実行時刻を設定します



5 になるまで ＋ ボタンを押し、登録 ボタンを押します。
登録ボタンを押すと、点滅が点灯に変わります。
注）実行時刻の設定は、「時」のみで、「分」は 00 分固定です。

9 もう 1 度、登録ボタンを押します

登録ボタンを押すと、終了年月日の設定に移ります。
開始年月日と同じように設定します。



●設定の確認をしたい場合

設定終了後、サマータイムボタンを押すごとに、開始年月日→実行時刻→終了年月日と表示が変わり、設定の確認ができます。

●設定の取消しをしたい場合

開始日と終了日を同じ年月日で設定すると、サマータイムは機能しません。

こんなときには

現　象	原因と処理		
カードが入らない	・停電中	⇒	復電するまで待つ
	・電源コードが抜けている	⇒	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込む
	・カードを引き抜いたり無理に押し込んだりした	⇒	一旦電源プラグを抜き、差し込み直す
“ピコピコピコッ”と音がして印字しない	・カード面を逆に挿入した	⇒	カードの表裏を反対にして挿入する
“ピーッ”と音がして印字しない	・カード挿入の失敗	⇒	軽く押しぎみに挿入する
時計が進まない	・停電中	⇒	復電するまで待つ
	・電源コードが抜けている	⇒	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込む
	・時計部の動作不良	⇒	一旦電源プラグを抜き、差し込み直す
時計が遅れている（進んでいる）	・時刻合わせの間違い	⇒	「分の合わせかた」P.16 参照
	・長時間の停電	⇒	「日付の合わせかた」P.17 参照
	・時計部の動作不良	⇒	一旦電源プラグを抜き、差し込み直す
曜日・日付が違う	・日付合わせの間違い	⇒	「日付の合わせかた」P.17 参照
印字がうすい（印字が欠ける）	・リボンの寿命	⇒	「リボンカセットの交換」P.24 参照
	・リボンカセットの装着ミス	⇒	正しくセットし直す
印字段が違う	・締日などの設定間違い	⇒	締日、空段、印字段切換時刻、日付、カードタイプの設定を確認する
印字欄が違う	・印字欄の選択ミス	⇒	正しい印字欄を選択する
印字が流れる	・利用方法の誤り	⇒	カードの取り出しかたを指導。印字中カードを引き抜いたり、押し込んだりしない

・ 以上を点検しても正常にご使用できない場合は、むやみに分解・注油などを行わないで弊社最寄の支店・営業所または弊社タイムレコーダー・サポートセンターへご連絡ください。

エラーコード一覧とメッセージ

⚠ 警　告	⚠ 注　意
 ぬれ手禁止 ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。 感電のおそれがあります。 禁止 ・電源コードを傷つけたり、破損しないこと。 また、重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。	 プラグを持って抜く ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

エラー音「ピコピコピコ」がした場合は電源コードを 1 度抜いて、しばらく（10 秒程）してから再度コンセントへ差込んでください。
回復しない場合は表示されたエラーコードを確認してください。

エラー表示	エラー内容	処　置
E-02	欄ホームポジションセンサエラー	弊社タイムレコーダー・サポートセンターへご連絡ください。
E-03	印字タイミングパルスセンサエラー	
E-04	遮光センサエラー	カードを再挿入してください。

※E-02・E-03 は打刻できません。
※E-04 が連続して発生する場合も打刻できません。
※本機はアマノ製標準ＡＢＣカード（またはDカード）以外をお使いのときは、正常な動作の保証をいたしません。
アマノ製標準ＡＢＣカード（またはDカード）をお使いください。（27 ページ参照）

印字が薄くなってきたら(リボンカセットの交換)

⚠ 警告　

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。
感電の原因となります。

⚠ 注意　

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

タイムカードの印字が薄くなった場合、リボンカセットを交換してください。

お願い

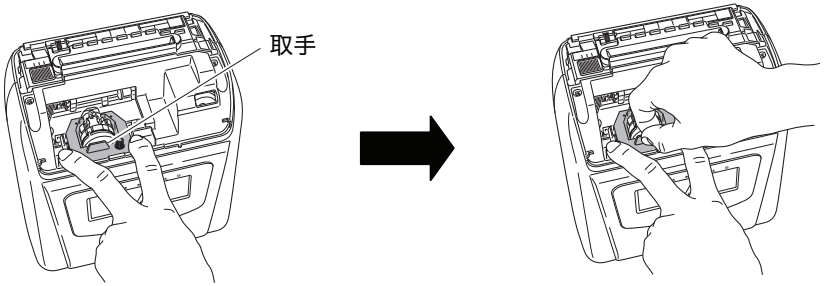
・リボン交換でケースを開ける場合は、作業者がスチールデスク等大きな金属に触れるなどして、体内の静電気を放電してから作業してください。
冬場などの乾燥時期には思わぬ静電気が機械故障等の原因となるおそれがあります。

メモ　リボンカセットの部品番号は CE 319 250 です。
（リボンカセットは改良のため部品番号の末尾を変更することがあります。ご購入時には使用できる機種をご確認ください。）

1 上ぶたを開けます

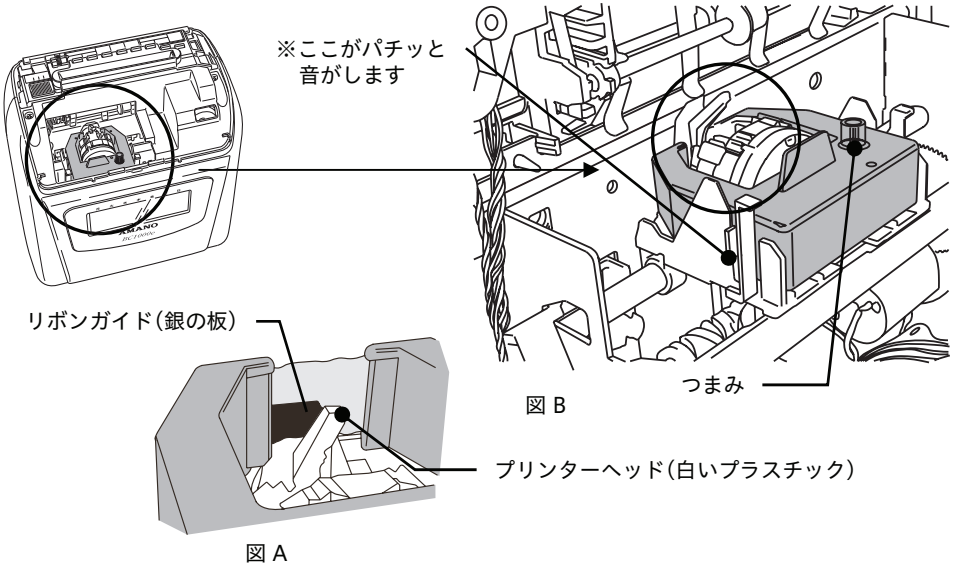
上ぶた中央を押しながら、上ぶたを開きます。ドットプリンターが中央に寄りましたら、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 リボンカセットを取り出します



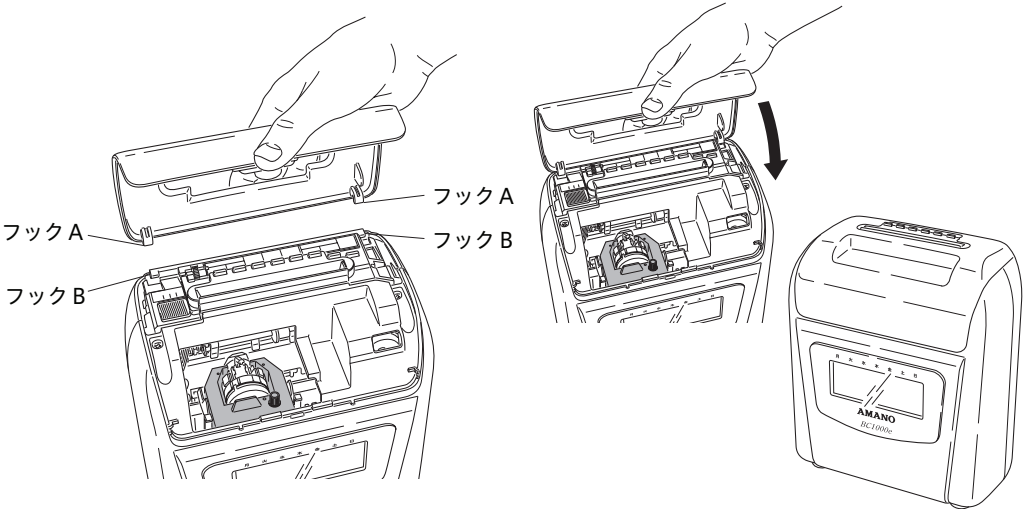
左図のようにリボン押えを手前に引いたまま、カセットの取手をもって引き抜くように取り出します。

3 新しいリボンカセットをセットします



リボンカセットを、リボンガイドとドットプリンターヘッドの間に正しく入れます。(図 A)
パチッ※というまで押してセットし、つまみを時計方向に回してたるみをとります。(図 B)

4 上ぶたを閉めます



上ぶたのフック A を本体フック B に引っ掛けてから、上ぶたを手前に倒してはめ込みます。
最後に電源プラグをコンセントへ差し込みます。

付録

日常のお手入れ

ケースが汚れたときのふき取り

・柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽くふいてください。

・ベンジン、シンナー（揮発性のもの）などの薬品を使用してふきますと、変形や変色の原因となります。

・殺虫剤などのスプレーをかけた場合でも、変形や変色の原因となります。

窓ガラスは柔らかい布で乾拭きしてください。表面は特殊加工されていますので、ご注意ください。

製品仕様

使用電源　：AC100V±10%（50／60Hz）

消費電力　：待機時 2W　定格 8W

環境条件　：温度－10℃～40℃
湿度 10%RH～90%RH（結露のないこと）

外形寸法　：高さ 224 ㎜×幅 190 ㎜×奥行 107 ㎜

質量(重量)：2.3 kg

時計方式　：水晶発振方式週差±3 秒以内（25℃±5℃）

メモリー保持機能：リチウム電池にて停電累計で 3 年間（内部時計以外の機能はすべて停止します）。停電時の打刻はできません。

消耗品・別売品

JAN:JAN コードを表します。

タイムカード（1 箱 100 枚）

Aカード
月末/15 日締め用カード

JAN：4946267100014

Bカード
20 日/5 日締め用カード

JAN：4946267100021

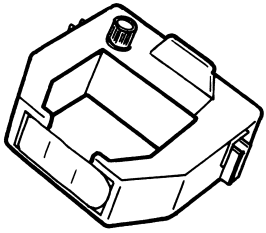
Cカード
25 日/10 日締め用カード

JAN：4946267100038

レコーダースタンド

JAN：4946267110259
400W×685H×300D（mm）4.8kg

リボンカセット



品名：CE-319250
JAN：4946267120555
単色：黒

カードラック（サイズの単位は㎜です。）

品名：12S-W
JAN：4946267110280
12 枚差し（PS 樹脂製）
101W×491H×32D

品名：20S
JAN：4946267110297
20 枚差し（PS 樹脂製）
101W×683H×32D

品名：50S-W
JAN：4946267110853
50 枚差し（PS 樹脂製）
206W×806H×32D

●デザイン・仕様はお断りなく変更することがございます。

保証とアフターサービス

ご購入後、製品に同梱されているお客様登録用紙の必要事項を全て記入し、FAXしてください。
本機の製品保証は、お客様登録によりはじめて有効になります。

「お客様登録用紙」FAX 先
FAX 045-439-2218

故障かな？と思ったら、「困ったときに」をご覧いただき、故障かどうかを点検してください。

故障・修理の場合は下記までご連絡ください。

本機の修理、メンテナンスサービスは、全てお持ち込み修理・引き取り修理に限らせていただきます。
保証期間中の無償修理の場合は、アマノ・タイムレコーダー・サポートセンターまたは当社支店・営業所にご連絡の上、「BC1000e」と「保証書」をお持ちください。
修理品をメンテナンスセンターに送るときの送料はお客様がご負担ください。
保証書が無い場合は、保証期間であっても有償となります。
また、出張による修理・点検・お引き取りが発生した場合は、保証期間でも「有償」になりますのでご了承ください。
なお、保証期間経過後の修理については、修理によって機能が維持できる場合はご希望により有償修理させていただきます。

製品の取扱いに関するお問い合わせ、メンテナンスサービスにつきましては下記までご連絡ください。
アマノ・タイムレコーダー・サポートセンター
フリーダイヤル：**0120-088-024**
受付時間/月～金曜日　9:00～12:00，13:00～18:00
（※祝祭日・弊社休日を除く）
インターネット　：http://www.amano.co.jp/
E-mail　　：trsupport@amano.co.jp

※本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

アマノ株式会社
本社／〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町 275 番地
TEL. (045)401-1441(代表)　FAX. (045)439-1150

http://www.amano.co.jp/

TIME & ECOLOGY
AMANO

時間情報事業
- ●就業・人事・給与統合システム
- ●就業ＳＩソリューション
- ●就業ＡＳＰ／クラウドサービス
- ●入室情報システム
- ●社員食堂情報システム
- ●ＩＣカード社員証ソリューション

エコロジー事業
- ●電解水生成装置
- ●電解水除菌洗浄システム
- ●電解水工業洗浄システム
- ●アルカリイオン清掃水応用システム

時刻配信・認証サービス事業
- ●時刻配信・監査サービス
- ●タイムスタンプサービス(e-timing)

時間管理機器事業
- ●ＰＣ接続式タイムレコーダー
- ●時間集計タイムレコーダー
- ●時刻記録タイムレコーダー
- ●タイムスタンプ
- ●タイムカード
- ●タイムコントロールシステム
- ●タイムレコーダーサポートサービス

環　境　事　業
- ●汎用集塵機
- ●大型集塵システム
- ●脱臭システム
- ●粉粒体空気輸送システム
- ●高温有害ガス除去システム
- ●環境設備監視/保全支援システム
- ●環境機器メンテナンス事業
- ●廃棄物焼却施設関連事業
- ●環境改善機器設置工事
- ●作業環境測定/環境計量証明事業

パーキング事業
- ●駐車場システム
- ●駐輪場システム
- ●セキュリティゲートシステム
- ●車路管制システム
- ●駐車場情報配信サービス（@park）
- ●駐車場マネジメントサービス
- ●駐車場機器設置工事

クリーンシステム事業
- ●業務用掃除機
- ●路面清掃機
- ●自動床面洗浄機
- ●高速バフィングマシン
- ●ポリッシャー
- ●用品・ケミカル・サプライ商品
- ●ドライケアシステム
- ●カーペットクリンリネスシステム
- ●フロアクリンリネスマネジメントサービス
- ●コーティングフロアケアシステム

CSR219301　(26)
T9701CH

＜企画・設計・製造・販売・施工・メンテナンス＞

MADE IN CHINA
991294570